医療従事者の負担軽減および処遇改善の取り組みについて

久留米大学医療センターでは、勤務する医療従事者の負担軽減および処遇の改善を図るために、「医療従事者の負担軽減等検討委員会」を組織して、以下に掲げる項目に取り組んでいます。

※取り組み項目(勤務環境改善の状況と以下の取組を確認)

「医師」の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の具体的な取組

- 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担
(実施項目:初診時の予診、静脈採血等、入院の説明、検査手順の説明、服薬指導、その他)
- 勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の実施
- 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保(勤務間インターバル)
- 交替勤務制・複数主治医制の実施
- その他(例:病状説明平日日勤帯での励行に係る掲示等)

「看護職員」の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の具体的な取組

- 業務量の調整
- 看護職員と他職種との業務分担
- 看護補助者の配置
- 短時間正規雇用の看護職員の活用
- 多様な勤務形態の導入
- 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮
- 夜勤負担の軽減

「医療従事者」の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の具体的な取組

- 院内保育所の設置(病児保育の実施)
- 医師事務作業補助者の配置による医師の事務作業の負担軽減(5名配置)
- 医師の時間外・休日・深夜の対応についての負担軽減及び処遇改善
- 特定行為研修修了者の複数名の配置及び活用による医師の負担軽減(特定行為研修修了者1名)
- 看護補助者の配置による看護職員の負担軽減

2025年4月

久留米大学医療センター
病院長 恵紙 英昭